

新庁舎整備等基本構想の検討に係る意見聴取（市民ワークショップ）

期間：令和3年8月22日・23日、8月28日・29日
参加者：39名（6グループ） ※グループワークで出た意見を内容ごとにとりまとめ

グループ	意見番号	意見概要
A	1	○飲食店（うなぎなど浦和の食文化を生かしたもの）がよい。
	2	○市民交流拠点 ・いろいろな仕掛けができる内容。 ・市民が参加できる、つくる、活用できる場所、まちを知れる場所。 ・楽しく、かつ浦和の文化を知れる場所がよい。 ・浦和を対外的に知ってもらいたい。 ・さいたま市ならではの内容。（他市との違い） ・PRを意識。 ・文教都市などをさらに深堀していく。 ・新しいものも（例えばデジタル系）あるとよい。 ・古きと新しいがどちらもある。 ・公園、イベントができる場所（地場の有名店の活用、市民の利用）。 ・既存の市民サロン、水遊び場の機能は残す。 ・オープンテラス。 ・人流を途絶えさせない仕掛け（埼玉会館建て替え時には近くのお店がなくなった）。 ・併設の建物に常設で楽しめるもの（友好都市のショップ、地場産野菜ショップ、展示スペース（浦和の文学など）など）。
	3	○楽しんで、市内外から人が集まれる場所がよい。（市内でも有名なスイーツのお店など）
	4	○さいたま市立大学の設立。 ・専門性が高い大学院大学などがよい。（スポーツ、デジタルサイエンスなど） ・専門的、独特なものが学べる学校（芸術・文学、宇宙など）
	5	○学ぶだけでなく、人を育てる場所になるとよい。（インキュベーションなど） ・寺子屋のようなもの。
	6	○人と人のつながり（多世代の交流など）ができる施設がよい。（例えば学生が子供に教えるような）
	7	○古き良き浦和となるような場所。
	8	○災害時に活用できる建物がよい。（有事には寝泊りできるようにしておく等） ○1階部分は極力緑の公園、地下に災害用シェルターとする。（備蓄、炊事・医療スペース、蓄電などエネルギー確保など） ・備蓄入れ替えを活用したスイーツなど。 ○防災拠点とする。（有事にも活用できる簡易宿泊スペース確保など） ・災害時における東京方面からの避難者等（市民以外も）が活用できる空間。
	9	○公園、緑地＋併設の建物がよい。（例えば友好都市の特徴が感じられるものなど） ○広場、建物内の展示室などがよい。
	10	○別所沼公園などへのアクセス道路を整備。 ・公園にトレーニングができる遊具設置。（日常的に使える、体力づくり） ・拠点間を結ぶサイクリングロードなど整備。（災害時にも活用） ・駅からの道中も楽しめる仕組み。（例えば地域のお店と協力したスタンプラリーなど） ・巡回バス、ミニバスが必要。（住宅街は道路が狭く、坂道も多い。高齢者も多い） ・自動運転バスの開発企業。

Aグループのまとめ

現庁舎地にあったらよいもの・サービス	<p>相互の機能を関連付けた複合化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民交流拠点（展示スペースなど） ・多世代交流拠点 ・大学院、教育機関（学びあいの機関、寺子屋）、インキュベーション機関 ・飲食店・ショップ（食文化、地場的な） ・災害対応拠点（他の機能との複合化） ・公園・緑地、オープンスペース、特色生かした庭園、写真スポット など
--------------------	--

新庁舎整備等基本構想の検討に係る意見聴取（市民ワークショップ）

期 間：令和3年8月22日・23日、8月28日・29日

参加者：39名（6グループ） ※グループワークで出た意見を内容ごとにとりまとめ

グループ	意見番号	意見概要
B	11	○室内アスレチック（子供が遊べる、雨天対応） ○ジムなど（スポーツ対応） ○自習室（勉強スペース、若い人が集まる）
	12	○スポーツ教育関連施設がよい。 （サッカー×教育（最先端のサッカー練習室、サッカーで遊べる施設など）） ○IT、AIなどの子供向けの教育施設がよい。 ○キッズシアター
	13	○多世代交流施設（高齢者と子供の交流など）がよい。
	14	○体験型施設（スポーツ、料理など。多世代交流も）がよい。
	15	○温泉施設がよい。
	16	○本格的な劇場、コンサートホールなどがよい。（市内の施設ではキャパが少ない。文教都市のイメージが弱い） ・全年代が楽しめる場。 ・ネーミングライツの活用の事例もある。 ・地域のお菓子、スイーツの販売。 ・巡回バス、道中を楽しめる空間づくり。（並木整備など） ・駅西口の再開発事業には市民会館うらわが入居予定。 ・ソニックシティなど既存施設とのすみわけも。
	17	○文教都市を象徴する施設がよい。 ・文教都市が何を指すか具体化が必要。（副題をつけるなど） ○語学、歴史、金融、バイオ、スポーツ、栄養学等、学べる施設、身につく施設（さいたま市から日本のリーダーを輩出するような環境をつくる） ・実務を学べる場。 ・外国の方との触れ合いの場。
	18	○商業ゾーン、行政ゾーンなどの分けを大切に。
	19	○低層な建物の景観を保全。
	20	○歴史と行政の資料館（市の歴史、行政文書等）がよい。
	21	○美術館がよい。
	22	○防災教育施設（消防署との連携）がよい。
	23	○公会堂がよい。（中小規模でよい）→敷地規模から合築も可能。

Bグループのまとめ

現庁舎地にあったらよいもの・サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多世代交流施設 ・ 体験型施設 ・ 文教拠点 劇場、美術館、公会堂 ・ 教育、人材育成 ・ 歴史行政資料館 ・ 防災教育施設 ・ 憩える空間、集まれる空間の確保も ・ 県外、市外からも人を集める視点 ・ 自分たちも誇れるものを
--------------------	---

新庁舎整備等基本構想の検討に係る意見聴取（市民ワークショップ）

期 間：令和3年8月22日・23日、8月28日・29日

参加者：39名（6グループ） ※グループワークで出た意見を内容ごとにとりまとめ

グループ	意見番号	意見概要
C	24	○埼玉大学のキャンパス ○さいたま市立大学 ○大学のサテライトキャンパス ・先端教育施設
	25	○インキュベーション施設
	26	○芸術の場（劇場）、周辺劇場との連携
	27	○市民の交流の場（短期型の店舗の出店、団体が活動できる、団体の紹介ができるスペース） ○世代間交流ができる場 ○市民団体が交流・会議ができるスペース ・コミュニケーションを補助するツールが必要（日本語・外国語翻訳、耳が聞こえない方や外国人とのコミュニケーション、見える通訳アプリケーション、手話通訳）
	28	○緑のスペース、公園 ・ウォークアブル、自転車で行ける ○park-PFIのような仕組み ○オープンスペース （骨董市、朝市、路上パフォーマンスができる場。行ってみたら何かある、楽しい場） ○屋上に周辺の企業等も憩えるスペース、緑地
	29	○埼玉の物産（農家と交流ができる） ○遊具、直売のものを食べられる、イベントができるスペース
	30	○大企業の本社誘致 ○民間企業を巻き込んだ職業体験（キッズニアのような） ・地元の民間企業 ○市内にないもの（アウトレットなど） ○カフェ ○シェアオフィス
	31	○子どもでも参加できるスポーツ等の施設 ○健康維持ができる運動教室 ○健康維持ができる食事教室
	32	○非常時にも使える避難所 ○雨水貯留地、子供が遊べる森
	33	○生活が完結するようなまちづくり

Cグループのまとめ

<p>現庁舎地に あったらよ いもの・ サービス</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民交流施設 ・ 大学 ・ 企業誘致 = ご意見 = ・ 緑のスペースは必須 ・ お金が回る仕組み ・ 農家の協力を得て実のなる植樹 ・ 巡回バス（渋滞対策） ・ 駅周辺の渋滞緩和としての駐車場機能 ・ バスに限らない交通手段 ・ 寄付 ・ 地域の問題解決のため、市民意見の聴取 ・ 住民の参加意欲を高める取組 ・ 市民出展等、市民もお金を回す仕組み ・ 世代ごとの会議、外国籍の方、障害者の方の会議 ・ 住宅が密集しているため、火災への対策が必要 ・ 歩道の利便性
--	---

新庁舎整備等基本構想の検討に係る意見聴取（市民ワークショップ）

期 間：令和3年8月22日・23日、8月28日・29日

参加者：39名（6グループ） ※グループワークで出た意見を内容ごとにとりまとめ

グループ	意見番号	意見概要
D	34	○子供たちが伸び伸びと活動できる場所がよい。 （遊びだけでなく、教育、スポーツなど多様な分野で。カンテラ。） ○子供たちが自由に遊べることに加え、新しいスポーツが経験できる場 （ボルダリングやトランポリン等。ボール遊び。）
	35	○市民が使える自由度の高いイベントスペースがよい。 （防災機能を兼ねる。子供も遊べる。キッチンカー。フリマ。地域の農産物が買える） ・例：鐘塚公園、立川
	36	○多世代交流機能（元気な高齢者も関わった子育て交流拠点）
	37	○病院機能（市立病院の分院。消防署と隣接する立地を活かす。） ・埼玉県は人口10万人当たりの医師の数がワースト ○消防署と連携した救命救急の機能
	38	○多様な人々・人材が集うイノベーション・コラボレーションスペース（少人数・大人数で集まって話せる。リモートワーク。人々が集まって知的活動ができる。インキュベーション） ○幼児～大学年代の教育コンテンツを製作出来る場（発信していく）
	39	○大学の医学部＋附属病院（特に国立大学。スポーツ科学・研究施設の併設）
	40	○環境への配慮（水素ステーションや熱融通）
	41	○周辺の道路が狭いため、小型救急車が入れるような防災拠点（ヘリポートも）

Dグループのまとめ

現庁舎地にあったらよいもの・サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・多世代・多様な人材が「学び」、「交流」できる機能 （子どもから高齢者まで広く利用できる、文化・歴史を学べる） ・市民交流できる多目的広場（イベント・防災・健康づくり等） ・防災関連の充実（医療サービスの充実） <p>【理由①（関連する魅力と地域資源）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文教都市（文化・歴史）だから ・人材の多様性、子育てのしやすさが重要 ・安心・安全の視点は必要 <p>【理由②（魅力を伸ばすために必要なこと）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民目線 ・周知活動（市内外問わず） <p>【実現による効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民憲章の実現につながる ・社会への関与が強まる（行政に対する関与） ・優秀な人材が輩出できる
--------------------	--

新庁舎整備等基本構想の検討に係る意見聴取（市民ワークショップ）

期 間：令和3年8月22日・23日、8月28日・29日

参加者：39名（6グループ） ※グループワークで出た意見を内容ごとにとりまとめ

グループ	意見番号	意見概要
E	42	<ul style="list-style-type: none"> ○公園などのスペース（区役所との併設で。建物でないもの） <ul style="list-style-type: none"> ・高層の建物ではない。 ・北浦和公園など近隣の公園とのすみわけが必要（小規模にするなど） ・現地にあるけやきの木など既存のものを生かす視点 ○公園（例：県議会の森で見られる植樹への寄付制度活用など住民参画の仕組み） ○一般の方も利用しやすいものも（公園など）
	43	<ul style="list-style-type: none"> ○来場者と交流の持てる場（販売スペースなど） ○市民が集まり、活動できる場所（イベントスペースなど）
	44	<ul style="list-style-type: none"> ○教育機関の誘致（大学、サテライトキャンパスなど。若者を呼び込む視点）→芸術系の大学など <ul style="list-style-type: none"> ・芸術系の活動をしている人の発表、展示スペースの確保 ・埼玉大学（教育や芸術など）との連携
	45	<ul style="list-style-type: none"> ○運動施設（若者に人気なスケートボード、バスケットボールなど）
	46	<ul style="list-style-type: none"> ○仲町小学校の移設（小学校の跡地の活用）
	47	<ul style="list-style-type: none"> ○待機児童を見れる場所
	48	<ul style="list-style-type: none"> ○交通サービスの充実（美園レッドバスのような） <ul style="list-style-type: none"> ・駅からの距離を踏まえると住民サービスによった施設がふさわしい
	49	<ul style="list-style-type: none"> ○民間と一体になった検討 ○区役所一体型のイメージ（プラザノース、尾間木公民館など）
	50	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢化等による財政状況も踏まえる必要がある（はこものありきではなく） ○地域住民の意向が大切 ○周辺のまちづくりの検討との連携（市民会館うらわの跡地利用や、それらを踏まえた回遊性の向上の視点など） ○SDGs未来計画など計画の具体化

Eグループのまとめ

現庁舎地にあつたらよいもの・サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・公園（住民参画の仕組み、カフェなど、既存の植樹の維持、など） ・大学（サテライトキャンパス含む、文化芸術系、など） <p>---追加意見など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外友好都市との連携 ・SDGs未来都市計画など各種計画に基づく検討 ・研究施設、デジタル関係の産業 ・点でなく線でのトータルデザインの検討が必要（市民会館うらわの跡地活用、近隣の公園との関係性、交通アクセス、県庁建て替えなど） ・周辺施設、環境への配慮（保健センターなど） ・水源、水路の活用
--------------------	--

新庁舎整備等基本構想の検討に係る意見聴取（市民ワークショップ）

期 間：令和3年8月22日・23日、8月28日・29日

参加者：39名（6グループ） ※グループワークで出た意見を内容ごとにとりまとめ

グループ	意見番号	意見概要
F	51	<ul style="list-style-type: none"> ○総合病院（市立病院が遠い、高齢化対策、大学医学部として医師の養成） ○医学部のある大学（さいたまに戻ってくる医師の養成） <ul style="list-style-type: none"> ・強力なリーダーシップをとる人が必要 ・医療、大学は文科省の認可が必要
	52	<ul style="list-style-type: none"> ○図書館 （雲の上の図書館など若者をひきつけるような建物 レストラン併設など一日過ごせる場所） ○プラネタリウム、全世界天候気候体験型施設（他の土地を体感できるものなど）など、学び体験の場 <ul style="list-style-type: none"> ・採算の取れる施設であるべき ・他地域との差別化、誇りの観点から、知識、知性、英知など、キーワードはDX、AI、IT、超高齢化社会、環境、宇宙、地球
	53	○大学（文教都市の象徴施設として埼玉大学のサテライトキャンパスなど）
	54	<ul style="list-style-type: none"> ○若い人が集まる場所がない（ストリートカルチャーが発展する施設などがあってもよい） <ul style="list-style-type: none"> ・キラコンテンツ、聖地化する（ストリートカルチャー、現代アートは下地があり起爆剤になりえるのでは）商業施設の活性化にもつながる
	55	<ul style="list-style-type: none"> ○食べ物のパークなど集客施設（他地域の人に来てもらえる 浦和の魅力発信） <ul style="list-style-type: none"> ・若い世代の負の遺産にならないように ○自転車（ロードバイク）、スケボー、電動バイクなど“車輪”に関連した集客施設 <ul style="list-style-type: none"> ・秋ヶ瀬公園と連携した活用（休憩施設など） ・駅からの飲食店と連携

Fグループのまとめ

現庁舎地にあったらよいもの・サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・医療サービスの充実（総合病院機能） ・学びの場（図書館、地球環境に関する全世界天候気候体験型施設、大学医学部、大学、サテライトキャンパス） ・集客施設・イベント機能（食文化を通じた交流（子供たちが社会科見学でも来れる、大人も学べる博物館型テーマパーク浦和の資源を活かした 学びと集客の共存施設）、車輪スポーツの交流の場〔（ロードバイク・電動バイクなどの練習場・シミュレーション場）（SSCの活用、クラウドファンディングの活用 25万人・10億円推計）〕、イベント） ・研究開発施設 <p>【理由①（関連する魅力と地域資源）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浦和の食文化（うなぎ） ・浦和の歴史 ・文教地域の魅力 ・暮らしやすさ、安心・安全 <p>【理由②（魅力を伸ばすために必要なこと）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーダーシップ ・ハードルが高い施設でも志を持って検討すべき ・市民へのPRと市民の協力（方向性が決まる前から市民に伝えるべき） ・市民への情報公開、参画が必要 ・市全体にとって必要なものならば理解が得られる <p>【実現による効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人流、賑わいの効果
--------------------	---